

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 108-0023  
 住 所 東京都港区芝浦三丁目1番21号  
 氏 名 株式会社ファミリーマート  
 代表取締役社長 澤田 貴司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ファミリーマート		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区登戸285-1 (川崎登戸店)		
該当する事業者 の要	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	フランチャイズ・システムによるコンビニエンスストア事業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	7,378	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t …CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	<p>当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。  <a href="https://www.family.co.jp/company/csr/environmental_initiatives.html">https://www.family.co.jp/company/csr/environmental_initiatives.html</a></p>

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

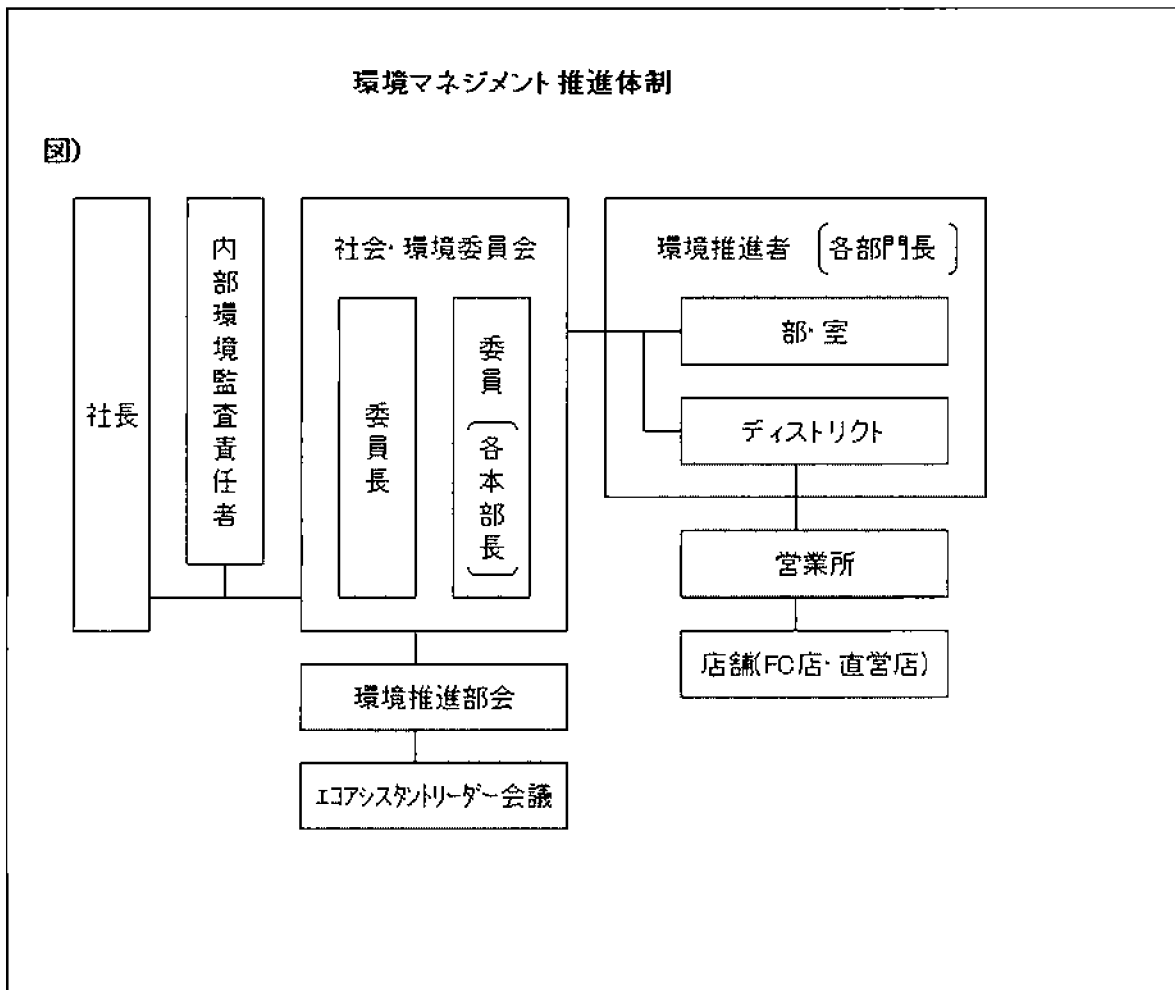
ISO14001の環境マネジメントシステムに基づき、次の3つの方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている。

- (1) 地球温暖化対策に関する取組を積極的に行い、継続的に対策を推進する。
- (2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- (3) 温室効果ガス排出量の削減に寄与する製品及びサービスへの社会への提供を行う。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

代表取締役社長は、当社の環境マネジメントシステムが、引き続き、適切、妥当かつ有効であることを確実にするために、社会・環境委員長の主催する「社会・環境委員会」を通じて、年2回、削減対策実施状況を含め、環境マネジメントシステムをレビューする。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	13,625	(実)		
		(調)	13,252 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目標	排出量	(実)	13,433	(実)		
		(調)	13,067 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削減量		(実)	192 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内訳	対策実施による削減量	(実)	416 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	-224 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削減率		(実)	1.4 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		店舗数			
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /1店舗あたり			
基準年度の値		74.86			
目標年度の値		72.61			
削減率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

目標年度までに川崎市内の店舗数は増加予定のため、温室効果ガスの総排出量は増加となる。店舗の面積は30～40坪台が8割を占め、店内に設置されている設備についても標準化されているため、1店舗あたりを原単位とし、排出原単位の値を年平均1%以上削減することを前提に目標設定した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

新設店・改装店への省エネルギー設備導入と、全店舗のオペレーション改善によって、1店舗あたりのCO<sub>2</sub>排出量を、年間1%以上削減する目標に取り組んでいます。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	<p>○推進体制の整備 事務所・店舗とも責任者のもとに、目標進捗を確認し、削減に向けて取り組む。</p> <p>○新設、更新等における措置 新店、改装店舗に対して、総合熱利用システムや店内照明調光システムなどの、省エネ機器の導入を中心として、排出量の削減を図る。</p> <p>○適正運用管理 店舗の定期的什器フィルター清掃実施など、店舗運営改善によりエネルギーの削減を目指す。</p> <p>○その他 全社員に対して、e-ラーニングによる環境教育の実施。店舗ストアスタッフに対しては、専門の冊子による環境教育を年3回実施し、意識の啓発を図る。</p> <p>○太陽光発電設備による再生可能エネルギー（電力）の供給を行う。</p>
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>店舗の照明設備にLED照明を導入した。</p>
----------------------------

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	2013~2015年度迄、店舗の屋上に10kWのパネルを設置済み。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	川崎市内5店舗に10kWの発電パネル設置	2013年度設置
太陽光	川崎市内4店舗に10kWの発電パネル設置	2014年度設置
太陽光	川崎市内1店舗に10kWの発電パネル設置	2015年度設置

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物削減のため、分別と食品リサイクルの推進を図る。</li> <li>○店舗において、レジ袋削減のための取り組みを実施している。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジでのお客様への声かけ</li> <li>・店頭ポスターやレジ液晶POPでの呼びかけなど</li> </ul> </li> <li>○全店舗レジ横にて、店頭募金を実施し、その一部は森林保全活動に寄付を実施している。</li> </ul>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	13,625	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	7,378	K L
--	-------	-----

ウ 事業所の数

	182
--	-----

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>